

# 阿蘇海環境づくり協働会議 平成30年度の取組

## 1 清掃活動等の実施（行政・地域団体等が協働実施）

- 夏の阿蘇海清掃（海藻類・漂着ゴミの回収） ※7月豪雨の影響を懸念し中止又は順延  
地域住民が中心となって海岸漂着ゴミを除去

### <与謝野町男山区：アオサ回収> ※中止

【実施予定日】7月8日（日）

【予定場所】岩滝海岸

### <宮津市府中地区：漂着ゴミ回収>

【実施日】8月28日（火）（7月9日（月）から順延）

【場所】天橋海岸～大垣海岸

【参加者】約51人（IVUSAとの共同実施）

【回収量】約4.7 t

## ●秋の清掃活動

### <阿蘇海清掃：宮津市府中区>

【実施日】10月23日（火）

【場所】天橋海岸～大垣海岸

【参加者】約30人

【回収量】約6.8 t

## ●地元主体の清掃活動（与謝野町浜町区、東町区）

【実施日】7月15日（日）

【場所】区内護岸及び歩道部漂着ごみ収集処分

【参加者】約110人（浜町区、東町区他）

【収集量】約15.5t

【実施日】8月5日（日）

【場所】区内護岸部漂着ごみ収集処分

【参加者】約59人（浜町区他）

【収集量】約3.9t

●NPO国際ボランティア学生協会（IVUSA）と連携した阿蘇海清掃

大学生ボランティアを受け入れ、より大規模な清掃活動を実施。また、活動を通じて地元住民との交流を深め、新たな取組の場づくり・環づくりを推進

<6月カキ殻活用試験>

【実施日】6月16日（土）

【内容】カキ殻の資源活用（京丹後ふるさと農園）

【参加者】IVUSA：3名

<7月子ども達への環境保護啓発事業>

【実施日】7月16日（祝）

【内容】川のゴミ拾い：300ゴミ袋2袋分  
地域主催の子ども向け環境イベントへの協力

【参加者】IVUSA：3名

後野区、地元小学生ほか：約30名

<8月阿蘇海夏プロ> ※大学生83名参加

【実施日】8月26日（日）～29日（水）

【内容】○「カキ殻クリーン大作戦」の実施（2日間：延べ45名の参加）

・海洋高校17名（教員含む）をはじめ、企業、環境団体等からも参加あり

○府中区での海岸漂着ゴミの回収（地元参加者：19名） ※再掲

○子ども向け環境学習会の実施（2日間：延べ4名）

・阿蘇海の環境に関する工作、カキ殻回収の見学等（対象：小学校3、4年生）

・船上環境学習会（対象：中学生）

○大学生ボランティアと地域住民の交流会の実施（地元参加者：47名）

【回収量】カキ殻回収量：約16.0t

漂着ゴミ回収量：約5.8t

<10月野田川清掃>

【実施日】10月20日（土）、21日（日）

【内容】川のゴミ拾い：約1.1t（枝木を含む）

【参加者】IVUSA：5名

後野区：2日間延べ16名

<2月・3月阿蘇海春プロ> ※大学生103人参加

【実施日】2月28日（木）～3月3日（日）

【内容】○「阿蘇海環境づくり活動みんなでカキ殻拾うDay」の実施（39名の一般参加）

・活動実施に向けた実行委員会の立ち上げ（IVUSA、協働会議、地域4団体）

・作業終了後に参加者と大学生の交流を深めるための昼食会を実施

○カキ殻資源活用についての展示会の実施（天橋立駅構内等）

○子ども向け環境学習会の実施（参加者：子ども10名、保護者等7名）

・阿蘇海の環境に関する工作、カキ殻回収の見学等（対象：小学校3～6年生）

○イベント等での普及啓発

・「与謝野町の環境未来2019」でのIVUSAブース出店

・活動報告会の実施

○大学生ボランティアと地域住民の交流会の実施（地元参加者：約10名）

【回収量】約51t（カキ殻）

**大学生延べ197名参加。カキ殻約67トン回収**

## 2 啓発活動の推進

### ●「阿蘇海の日」事業（市町主催事業）

7月14日を「阿蘇海の日」として事業を実施

#### ①阿蘇海周遊体験学習会

- 日時：7月14日（土）8:00～12:30
- 場所：阿蘇海（阿蘇シーサイドパーク周辺）
- 参加者：約70人
- 内容：阿蘇海に親しみ、環境について学ぶ学習会

#### ②事例発表・講演会・展示

- 日時：7月14日（日）13:30～16:00
- 場所：知遊館
- 参加者：約280人
- 内容：事例発表、講演会、展示コーナー

### ●環境ポスター掲示による啓発活動（市、町）

地域の小学生を対象に環境改善絵画コンクール実施。

入賞作品をパネルやポスターにして、地域内で掲出するなど意識啓発も実施

- 応募数 宮津市：6小学校62点  
与謝野町：8小学校154点

## 3 環境学習の推進

### ●環境学習のサポート（NPO、府）

NPOや行政職員による小中学校及び企業の環境学習サポート。

阿蘇海流域の環境、野田川のサケ、生き物調査等

- 5月24日（木）与謝野町立桑飼小学校4年生（NPO）
- 5月30日（水）宮津市立府中小学校5年生（海洋高校）
- 6月5日（火）与謝野町宮津市中学校組合立橋立中学校1年生（NPO）
- 6月20日（水）与謝野町立山田小学校4・5年生（海上保安庁） ※参考
- 6月27日（水）与謝野町立岩滝小学校4年生（海上保安庁） ※参考
- 7月2日（月）与謝野町宮津市中学校組合立橋立中学校1年生（NPO）
- 7月2日（月）安田建設グループ安全衛生協力会（振興局）
- 7月11日（水）与謝野町立石川小学校5年生（海洋高校）
- 7月13日（金）与謝野町立与謝小学校4年生（海洋高校）
- 7月18日（水）宮津市立府中小学校4年生（振興局）
- 11月7日（水）与謝野町立三河内小学校5年生（与謝野町） ※参考
- 12月13日（木）与謝野町立三河内小学校5年生（保健所）
- 3月6日（水）与謝野町立山田小学校4年生（NPO）
- 3月7日（木）与謝野町立岩滝小学校4年生（与謝野町） ※参考

### ●アマモ場造成研究（海洋高校）

- 5月10日（木）阿蘇海アマモ場、宮津湾アマモ場調査
- 6月7日（木）阿蘇海アマモ場調査、宮津湾アマモ生殖株採取
- 11月28日（水）阿蘇海試験区でのアマモ播種試験（約8万粒）

## 4 農業者関係の取組

### ●自然循環農業（京の豆っこ肥料）の推進（町）

豆腐工場からでたおからを作った「京の豆っこ肥料」を推進し、化学肥料から有機質肥料にすることで、与謝野町ブランドを確立するとともに、阿蘇海等環境に優しい農業の促進を図る。

## 5 水産事業者の取組

### ●「天橋立育成あさり」の育成・販売（漁業者）

平成24年度までに開発した育成技術により、身入りが大きく栄養分の豊富なアサリを育成。阿蘇海の水質浄化にも貢献

### ●「文珠産天然生かき」の出荷（漁業者）

阿蘇海の豊富な栄養に育まれた天然カキは、はち切れんばかりに身入りが良く高品質。新たな特産品開発だけでなく、観光振興、景観保全等一石三鳥の取組を目指す。

## 6 地域の主体的な活動

### ●サケのふるさとプロジェクト（後野区、NPO）

野田川に遡上するサケの見守り活動を通じて、周囲の環境保全や、暮らしと自然との関わり方を考える。

### ●ちょこボラステーション（NPO、市、町）

いつでも誰でも気軽に「ちょこっとボランティア」できるようステーションを阿蘇海周辺6カ所に設置。市町指定ゴミ袋の配布、回収ゴミの一時預かりを開始。回収ゴミの処分場への運搬は市町が行う。

- 吉野茶屋（文珠）
- 一ノ宮汽船乗り場（府中）
- 阿蘇シーサイドパーク（岩滝）
- クアハウス岩滝
- 与謝野町役場野田川庁舎
- 与謝野町役場加悦庁舎

### ●天ぷら油の回収（NPO、市、町）

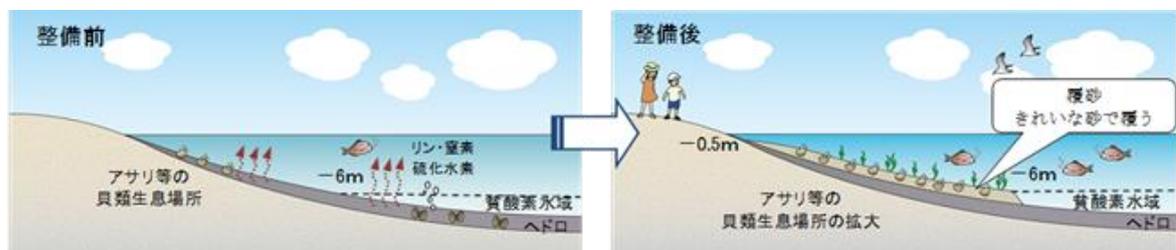
流入負荷削減の取組として実施。市町庁舎のほか、公民館、観光施設、保育所にも回収ボックスを設置

## 7 行政による取組

### ●阿蘇海シーブルー事業（港湾局港湾施設課）

平成29年度までに約19haの覆砂工を実施。平成30年度は効果検証を実施。

- 事業期間：H 5～30／全体計画：19 ha



### ●下水道事業、浄化槽設置補助（市、町）

### ●市町村森林整備計画の策定と適切な森林整備の実行監理（市、町）